

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 1 月 5 日(2023.1.5)

【公開番号】特開 2022-43390(P2022-43390A)
【公開日】令和 4 年 3 月 16 日(2022.3.16)
【年通号数】公開公報(特許)2022-047
【出願番号】特願 2020-148614(P2020-148614)
【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 1 1 A

A 6 3 F 5/04 6 0 2 A

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 12 月 22 日(2022.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のストップスイッチ

を備え、

全てのリールが回転している状況にて、複数のストップスイッチのうち所定のストップスイッチが押下されると所定のリールが停止可能であり、

全てのリールが回転している状況では、複数のストップスイッチのうち所定のストップスイッチに対応する所定のストップスイッチランプは所定の点灯態様で点灯可能であり、

全てのリールが回転している状況にて電源断が発生し、電源供給がされていない状況にて所定のストップスイッチが押下され、所定のストップスイッチが押下されている状況で電源が投入された場合、電源投入後に所定のストップスイッチの押下が継続されている特定の状況では、所定のリールは停止しておらず、所定のストップスイッチランプは所定の点灯態様とは異なる態様となっている

30

遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【0005】

本発明は、複数のストップスイッチを備え、全てのリールが回転している状況にて、複数のストップスイッチのうち所定のストップスイッチが押下されると所定のリールが停止可能であり、全てのリールが回転している状況では、複数のストップスイッチのうち所定のストップスイッチに対応する所定のストップスイッチランプは所定の点灯態様で点灯可能であり、全てのリールが回転している状況にて電源断が発生し、電源供給がされていない状況にて所定のストップスイッチが押下され、所定のストップスイッチが押下されている状況で電源が投入された場合、電源投入後に所定のストップスイッチの押下が継続されている特定の状況では、所定のリールは停止しておらず、所定のストップスイッチランプは所定の点灯態様とは異なる態様となっている。

50

また、本発明は、複数のストップスイッチと、複数のストップスイッチランプとを備え、全てのリールが回転している状況にて、所定のストップスイッチが押下されると所定のリールが停止可能であり、全てのリールが回転している状況にて、所定のストップスイッチランプは所定の点灯態様で点灯可能であり、全てのリールが回転している状況にて電源断が発生し、所定のストップスイッチが押下されている状況で電源が投入された場合は、所定のリールは停止せず、所定のストップスイッチランプは所定の点灯態様とは異なる態様となっており、所定のストップスイッチとは異なる特定のストップスイッチが押下されても特定のストップスイッチに対応するリールは停止されないことを特徴とする態様であつてもよい。

10

20

30

40

50